

2022年度 第11回 WEBアンケート 調査報告書

1 「食品ロス削減」

環境局資源循環部廃棄物対策課

2 「生涯学習」

教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

3 「気候危機と脱炭素」

環境部環境保全部環境保全課

4 「自殺対策」

保健福祉局高齢障害部精神保健福祉課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果

	ページ
・ 概要 1
・ 「食品ロス削減」 2
・ 「生涯学習」 5
・ 「気候危機と脱炭素」 7
・ 「自殺対策」 10
・ その他 12

回答者属性

回答者数	1,512人
------	--------

性別		
男性	696	46.0%
女性	774	51.2%
その他	9	0.6%
未回答	33	2.2%

職業		
会社員	476	31.5%
自営・自由業	73	4.8%
パート・アルバイト	271	17.9%
公務員	72	4.8%
学生	53	3.5%
専業主婦・主夫	266	17.6%
無職	270	17.9%
その他	31	2.1%

年代		
10代以下	35	2.3%
20代	49	3.2%
30代	174	11.5%
40代	298	19.7%
50代	415	27.4%
60代	294	19.4%
70代以上	247	16.3%

居住区		
中央区	262	17.3%
花見川区	228	15.1%
稲毛区	263	17.4%
若葉区	124	8.2%
緑区	187	12.4%
美浜区	387	25.6%
市内在勤・在学	61	4.0%

令和4年度 第11回

調査名	「食品ロス削減」「生涯学習」「気候危機と脱炭素」「自殺対策」
調査期間	令和5年2月1日(水)午前9時～2月10日(金)午後5時

概要:

<p>1食品ロス削減 「食品ロス」に対する認知度と、取組状況などをお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>2 生涯学習 生涯学習に関する活動状況と意識をお聞かせいただき、学びを通して地域がつながるまちの実現に向けた参考とさせていただきます。</p> <p>3 気候危機と脱炭素 気候危機※1と脱炭素※2に関する認知度などをお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。</p> <p>※1猛暑や豪雨など地球温暖化が原因とされる災害が多発しており、もはや気候変動は、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と言われている。 ※2温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。</p> <p>4「自殺対策」 自殺対策に関するご意見をお聞かせいただき、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
--

参考URL

https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/tabekiri.html
https://www.city.chiba.jp/kyoiku/shogaigakushu/shogaigakushu/III5th.html
https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/ondanka/kikokikikodosengen.htm
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/seishin/jishiindex.html

- Q1: はじめに、「食品ロス削減」についてお聞きします。
「食品ロス」※1が問題となっていることを知っていましたか。
※1 食べ残しや期限切れなどの理由で、本来食べられるのに捨てられている食べ物のこと。日本では、食品ロスが1年間で約522万トンも発生しており、毎日一人あたり、お茶碗約1杯分のご飯の量を捨てている計算になる(2020年度推計)

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,512]	
知っていた(内容も知っていた)	1,144	75.7%
知っていた(言葉だけ知っていた)	318	21.0%
知らなかった →Q3へ	50	3.3%

- Q2: (Q1で「知っていた」と回答した方)
食品ロスに関する情報をどこで知りましたか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,462]	
テレビやラジオ	1,154	78.9%
新聞や雑誌	589	40.3%
インターネット(SNS、動画サイトなど)	539	36.9%
市政だより	332	22.7%
外出先(駅広告、飲食店など)	157	10.7%
民間事業者の実施するキャンペーン	149	10.2%
市ホームページ	125	8.5%
ポスター	93	6.4%
覚えていない	27	1.8%
市リーフレット	25	1.7%
その他()※30字以内	39	2.7%

- Q3: ご家庭で、どのくらいの頻度で食品ロスが出ますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1,512]	
週に2~5回程度	103	6.8%
週に1回程度	274	18.1%
月に1~2回程度	327	21.6%
ほとんど出ない	613	40.5%
全く出ない →Q5へ	195	12.9%

- Q4: ご家庭で、食品ロスを出してしまう理由は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1,317]	
食べるのを忘れてしまった	582	44.2%
買いすぎてしまう(安くてつい買い過ぎてしまった)	359	27.3%
人からもらったものが食べきれなかった	320	24.3%
買いすぎてしまう(家に在庫があるのに、買ってしまった)	284	21.6%
賞味期限間近または消費期限間近の見切り品を買ったが、食べきれなかった	255	19.4%
食べられる葉っぱや皮など、調理が面倒で捨ててしまう	241	18.3%
好みの味ではなかったため、食べきれなかった	195	14.8%
野菜などの皮を厚く剥いてしまう	184	14.0%
料理を作り過ぎてしまう	159	12.1%
予定外の外出により食べきれなかった	126	9.6%
自分または家族の好き嫌いが多い	69	5.2%
コロナ禍で自宅で食事する機会(食べ残しや作りすぎの機会)が増えた	16	1.2%
その他()※50字以内	72	5.5%

Q5: 食品ロスを減らすためにあなた自身が取り組んでいることはありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

残さず食べる	983	65.0%
冷凍保存する	831	55.0%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てずに、工夫して消費する(食べる)	809	53.5%
買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材をチェックする	799	52.8%
食べられる量を購入する(小分け商品、バラ売りなど)	674	44.6%
バイキング料理では料理を取りすぎない	414	27.4%
料理を作り過ぎない	407	26.9%
外食の際は、注文しすぎない	401	26.5%
野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理を心がける	357	23.6%
残った料理を別の料理に作り替える	338	22.4%
買い物時、すぐ食べる商品は棚の手前から取り、店頭ロスが出ないように購入する	331	21.9%
フードドライブ(手つかず食品を回収し、食料支援を必要とする施設や団体等に寄付する活動)を活用する	61	4.0%
フードシェアサービスを活用する(食品ロスを減らすためのアプリ・サービスなど)	35	2.3%
取り組んでいることはない	24	1.6%

Q6: 食品ロスを減らすために今後取り組んでみたい、または今後も取り組んでいきたいことはありますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

買い物に行く前に、冷蔵庫にある食材をチェックする	775	51.3%
残さず食べる	728	48.1%
冷凍保存する	635	42.0%
食べられる量を購入する(小分け商品、バラ売りなど)	617	40.8%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てずに、工夫して消費する(食べる)	611	40.4%
料理を作り過ぎない	469	31.0%
買い物時、すぐ食べる商品は棚の手前から取り、店頭ロスが出ないように購入する	422	27.9%
野菜の皮を料理に使うなど、無駄のない調理を心がける	413	27.3%
バイキング料理では料理を取りすぎない	394	26.1%
残った料理を別の料理に作り替える	370	24.5%
外食の際は、注文しすぎない、小盛りのものを選択する	345	22.8%
フードドライブ(手つかず食品を回収し、食料支援を必要とする施設や団体等に寄付する活動)を活用する	190	12.6%
フードシェアサービスを活用する(食品ロスを減らすためのアプリ・サービスなど)	142	9.4%
すでに十分に取り組んでいるため、今後新たに取り組んでみたいことはない	141	9.3%
現状で取り組んでいるとは言えないが、今後新たに取り組んでみたいことはない	28	1.9%

Q7: 食品ロス削減につながる取組みとして市に実施して欲しいものは何ですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,512]

フードドライブ(手つかず食品の回収・有効活用)	749	49.5%
飲食店等と連携した食べきりキャンペーン	612	40.5%
学校での食品ロスに関する授業(児童や学生を対象とした啓蒙活動)	584	38.6%
食品ロス削減に向けた企業、団体の取組み紹介や支援	480	31.7%
イベント(へらそうくんフェスタなど)	305	20.2%
参加型の啓発事業(ワークショップ、エコ料理教室など)	273	18.1%
受講型の啓発事業(市政出前講座、ごみ減量講習会など)	180	11.9%
広報紙・パンフレットの制作	173	11.4%
動画の作成	45	3.0%
特にない	104	6.9%
その他()※50字以内	54	3.6%

- Q8: 次に、「生涯学習※2」についてお聞きします。
この1年間で、次のうちどのような生涯学習を行いましたか。
※2 人が生涯にわたり行う学習活動のこと。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

健康づくり(各種スポーツ、レクリエーションなど) →Q10へ	358	23.7%
健康(医学、栄養学、感染症など) →Q10へ	299	19.8%
趣味・お稽古事(音楽、美術、伝統芸能、園芸など) →Q10へ	242	16.0%
学術・教養(文学、郷土史、経済、語学など) →Q10へ	237	15.7%
ボランティア活動(福祉、環境美化、学習指導など) →Q10へ	180	11.9%
職業上必要な知識・技能・資格取得 →Q10へ	178	11.8%
情報通信技術(パソコン、スマートフォン、インターネットの使い方など) →Q10へ	166	11.0%
家庭生活(料理、手芸など) →Q10へ	164	10.8%
社会問題(時事、国際、環境など) →Q10へ	154	10.2%
地域活動(町内自治会、PTA、住民グループなど) →Q10へ	140	9.3%
自然災害(防災、避難方法など) →Q10へ	126	8.3%
育児・教育(幼児教育、教育活動など) →Q10へ	120	7.9%
その他()※50字以内 →Q10へ	9	0.6%
行っていない	559	37.0%

- Q9: (Q8で「行っていない」と回答した方)
その理由は何ですか。

(1つだけ)(入力必須) [n=559]

仕事のため時間がとれない	151	27.0%
どんな生涯学習活動があるのかわからない	81	14.5%
家事・育児・介護などで時間がとれない	66	11.8%
新型コロナウイルスの感染拡大防止で利用を自粛していた	44	7.9%
費用がかかる	35	6.3%
希望する内容の学習や活動機会が少ない	31	5.5%
一緒にする仲間がない	15	2.7%
身近に利用できる施設が少ない	12	2.1%
身体への負担が大きい	5	0.9%
適切な講師や指導者がいない	3	0.5%
特に関心がない	107	19.1%
その他()※50字以内	6	1.1%

- Q10: この1年間で、生涯学習施設※3を利用しましたか。
※3 生涯学習センター、公民館、青少年センター、文化ホール、文化センター、コミュニティセンター、いきいきプラザ・センター、図書館、博物館、科学館、美術館、スポーツ施設、民間のカルチャーセンターなどの施設

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

はい	861	56.9%
いいえ	651	43.1%

- Q11: 本市では、郷土への愛着を深めるため、加曾利貝塚※4や千葉氏※5に関する講座など、地域の歴史や文化資源を生かした講座を実施していますが、知っていましたか。
※4 若葉区にある日本最大級の規模を誇る貝塚を伴う縄文時代の集落遺跡。2017年10月に国の特別史跡に指定。
※5 鎌倉時代に活躍した武士の一族で、1126年に現在の中央区亥鼻付近に本拠地を構えて千葉市の礎を築いた。千葉常胤は、源頼朝を助け鎌倉幕府の成立に貢献した。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

知っていた(受講したことがある)	124	8.2%
知っていた(受講したことはない)	789	52.2%
知らなかった	599	39.6%

- Q12: 本市の歴史や文化財※6に愛着を感じていますか。
 ※6 歴史上、芸術上または学術上の価値が高いものをさし、そのうち重要なものを国・県・市が指定・登録している。千葉市にあるものでは、加曽利貝塚、稲毛浅間神社の神楽、旧川崎銀行千葉支店本館(現在の千葉市美術館1~2階部分)などが該当する。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

感じる	281	18.6%
どちらかといえば感じる	683	45.2%
どちらともいえない	456	30.2%
どちらかといえば感じない()※理由を50字以内で入力	57	3.8%
感じない()※理由を50字以内で入力	35	2.3%

- Q13: 本市では、学習活動を通じて地域課題を自ら解決するコミュニティが形成されることを目標に、事業を行っています。あなたの周りでは、住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思いますか。
 【取組事例】 地域住民と公民館が連携した講座、公民館コンサート(地域住民の交流)、公民館での伝承遊び講座(世代間の交流)、学校施設開放(地域活動や生涯学習の場の提供) など

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

思う	147	9.7%
どちらかといえば思う	474	31.3%
どちらともいえない	764	50.5%
どちらかといえば思わない()※理由を50字以内で入力	57	3.8%
思わない()※理由を50字以内で入力	70	4.6%

- Q14: 本市の生涯学習活動に関する情報※7は充実していると感じますか。
 ※7 市政だより、市ホームページ、市SNS、フリーペーパー、新聞折込チラシ、学校などで配布されるイベントのチラシ、ポスター、テレビ、クチコミ(個人のブログ等)、町内自治会などの回覧物 など

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

感じる	162	10.7%
どちらかといえば感じる	636	42.1%
どちらともいえない	636	42.1%
どちらかといえば感じない()※理由を50字以内で入力	55	3.6%
感じない()※理由を50字以内で入力	23	1.5%

- Q15: 次に、「気候危機と脱炭素」についてお聞きします。
「地球温暖化対策」※8には「緩和」と「適応」があることを知っていますか。
※8 温室効果ガスの排出をできるだけ抑制する「緩和」と、避けられない気候変動の影響に対して、被害を回避・低減する「適応」が重要とされている。本市では2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、「千葉市地球温暖化対策実行計画」を策定する予定。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

知っていた	469	31.0%
知らなかった	1,043	69.0%

- Q16: 今後、地球温暖化が進行すると、次のような影響があると想定されています。次のうち、あなたにとって発生したら特に困る影響を教えてください。

(3つまで)(入力必須) [n=1,512]

気象災害(台風、豪雨等)の高頻度での発生	1,275	84.3%
猛暑による熱中症リスクの上昇	770	50.9%
雨が降らない日が増加することによる水不足	689	45.6%
農作物の品質低下	405	26.8%
蚊などによる感染症発生リスクの上昇	350	23.1%
動物の生態域の変化	271	17.9%
海面上昇による砂浜の消失	195	12.9%
家畜の肉質、乳用牛の乳量、乳成分の低下	132	8.7%
サクラ、ウメ等の開花の早期化による伝統行事や祭りの時期への影響	21	1.4%
降雪量の減少に伴うスキー場の減少	21	1.4%
その他()※50字以内	9	0.6%

- Q17: 次のうち、現在、あなたが実践している省エネのための取組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

レジ袋はできるだけ使わず、エコバッグを利用	1,198	79.2%
冷暖房の温度設定を控えめにする	1,106	73.1%
クールビズ・ウォームビズ	901	59.6%
効率的な照明の利用(点灯時間の短縮・ライトダウンなど)	721	47.7%
温水洗浄便座を使用後にフタを閉じる	697	46.1%
省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買い換え	655	43.3%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動	512	33.9%
エレベーターはできるだけ使わず、階段を利用	463	30.6%
宅配便の日時指定やコンビニ受取・宅配ロッカーの利用	422	27.9%
地元の食材や季節のものを積極的に購入	401	26.5%
エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した運転)	381	25.2%
節水シャワーへの交換	261	17.3%
暑い日には体を冷やす夏野菜等を活用するなど、献立を工夫	222	14.7%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換	178	11.8%
エコカーへの買い換え	132	8.7%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォーム	131	8.7%
再生可能エネルギーの利用(太陽光発電)	112	7.4%
その他()※50字以内	25	1.7%
1つもない	9	0.6%

Q18: 次のうち、今後、あなたがはじめてみたいと思う省エネのための取組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買い換え	399	26.4%
エレベーターはできるだけ使わず、階段を利用	387	25.6%
地元の食材や季節のものを積極的に購入	367	24.3%
レジ袋はできるだけ使わず、エコバッグを利用	354	23.4%
冷暖房の温度設定を控えめにする	343	22.7%
効率的な照明の利用(点灯時間の短縮・ライトダウンなど)	330	21.8%
クールビズ・ウォームビズ	308	20.4%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動	289	19.1%
暑い日には体を冷やす夏野菜等を活用するなど、献立を工夫	282	18.7%
節水シャワーへの交換	281	18.6%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換	242	16.0%
温水洗浄便座を使用後にフタを閉じる	224	14.8%
再生可能エネルギーの利用(太陽光発電)	209	13.8%
宅配便の日時指定やコンビニ受取・宅配ロッカーの利用	200	13.2%
エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した運転)	197	13.0%
エコカーへの買い換え	182	12.0%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォーム	171	11.3%
その他()※50字以内	15	1.0%
1つもない	99	6.5%

Q19-1: こちらの画像をご確認ください。統一省エネルギーラベル※9の見本です。
※9 製品の省エネルギー性能、機器区分ごとの省エネ達成度、年間目安エネルギー料金を表示したラベル。



Q19-2: あなたのご家庭では、省エネ型家電(エアコン・冷蔵庫など)※10を使用していますか。
※10 直近5年以内に買い替えたもの、統一省エネルギーラベルがついているもの。省エネ性能が飛躍的に進化しており、まだ使えるものであっても買換えたほうが省エネにつながり、電気代もお得になる場合がある。

(1つだけ)(入力必須) [n=1,512]

使用している(他の家電も省エネ型に買い替える予定)	463	30.6%
使用している(他の家電は省エネ型に買い替える予定はない)	300	19.8%
使用していない(今後、省エネ型に買い替えたい)	597	39.5%
使用していない(省エネ型に買い替える予定はない)	152	10.1%

- Q20: あなたが台風や豪雨などの自然災害※11に備えていることを教えてください。
 ※11 近年、日本を含め世界では、猛暑や豪雨など地球温暖化が原因と推測される災害が多発しており、本市においても、令和元年の房総半島台風(第15号)、東日本台風(第19号)による災害に見舞われた。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

天気予報の確認	1,296	85.7%
食料や飲料などの備蓄	1,039	68.7%
防災バッグの用意	678	44.8%
ハザードマップの確認	655	43.3%
避難場所や避難経路の確認	645	42.7%
防災アプリやサイトなどの利用	369	24.4%
家族や知人との安否確認方法の事前決定	334	22.1%
防災訓練や避難訓練への参加	262	17.3%
特に備えていることはない	37	2.4%
その他()※50字以内	11	0.7%

- Q21: 地球温暖化の影響で暑い日が増えると、熱中症のリスクが増加しますが、あなたは、熱中症対策に関する情報をどのように収集していますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,512]

テレビ・新聞	1,051	69.5%
スマホアプリ(天気予報アプリ、防災アプリなど)	980	64.8%
市ホームページ・SNS(Twitterなど)	349	23.1%
家族や知人との情報交換	261	17.3%
ラジオ	235	15.5%
国(環境省・気象庁など)のホームページ	200	13.2%
特に情報は収集していない	69	4.6%
その他()※50字以内	9	0.6%

Q22: 最後に、「自殺対策」についてお聞きします。
これまでに「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じたことはありますか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,512]	
よくある	61	4.0%	
たまにある	162	10.7%	
過去にあったが今はない	312	20.6%	
ない →Q27へ	977	64.6%	

Q23: その原因は何ですか。

(いくつでも)(入力必須)		[n=535]	
仕事問題(職場の人間関係、職場環境など)	249	46.5%	
家庭問題(家族関係の不和、子育て・介護の悩みなど)	204	38.1%	
健康問題(病気や障害の悩みなど)	116	21.7%	
経済・生活問題(事業不振、失業、多重債務など)	103	19.3%	
学校問題(学業・進路の悩み、いじめ、人間関係など)	101	18.9%	
男女問題(結婚や交際をめぐる悩み、失恋など)	54	10.1%	
わからない	31	5.8%	
その他()※50字以内	25	4.7%	

Q24: Q23の原因は新型コロナウイルス感染症に伴うものですか。

(1つだけ)(入力必須)		[n=535]	
はい	30	5.6%	
いいえ	505	94.4%	

Q25: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。

(いくつでも)(入力必須)		[n=535]	
なんとなく死にたい気持ちがおさまった	214	40.0%	
環境や状況を、自ら行動し改善した	150	28.0%	
人に相談して気持ち楽になった	102	19.1%	
医療機関で治療をした	82	15.3%	
死ぬことが怖くなった	70	13.1%	
自殺の手段が思い浮かばなかった	53	9.9%	
人に相談して解決した	45	8.4%	
周囲の人に止められた	13	2.4%	
わからない	53	9.9%	
その他()※50字以内	55	10.3%	

Q26: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、誰に(どこに)相談しますか。

(いくつでも)(入力必須)		[n=535]	
家族や親族	179	33.5%	
友人や知人	124	23.2%	
精神科など専門医療機関	100	18.7%	
医療機関以外の相談機関・窓口	36	6.7%	
SNSを活用した相談	36	6.7%	
かかりつけ医	28	5.2%	
職場の上司や同僚	27	5.0%	
学校の先生やスクールカウンセラー	7	1.3%	
相談しない	226	42.2%	

Q27: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時に相談ができる窓口のうち、知っているのはどれですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,512]

千葉いのちの電話	601	39.7%
千葉市こころの電話	387	25.6%
千葉市こころと命の相談室	336	22.2%
千葉市こころの健康センター	135	8.9%
千葉市夜間・休日の心のケア相談(電話・LINE)	129	8.5%
こころの健康相談統一ダイヤル(厚生労働省)	119	7.9%
区保健福祉センター健康課	112	7.4%
「生きづらびっと」「こころのほっとチャット」などのNPO法人が運営するSNS	93	6.2%
よりそいホットライン(厚生労働省)	82	5.4%
その他	36	2.4%
全く知らない	514	34.0%

Q28: 自殺対策における「ゲートキーパー12※」という言葉や役割について聞いたことがありますか。

※12 ゲートキーパーとは、特別な資格等は必要なく、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ見守る人。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1,512]

ある	250	16.5%
ない	1262	83.5%

その他

Q2: (Q1で「知っていた」と回答した方)
食品ロスに関する情報をどこで知りましたか。

【その他 (39件)】

・ 学校の授業。(6件)
・ スーパーマーケットの売り場。(5件)
・ 職場で取り組んでいる。(3件)
・ NPO団体。(2件)
・ 店舗。(2件)
・ 加入している生協の取り組みとフードバンクちばの取り組みにより。
・ 研修でアメリカの農林水産省勤務講師がで食品ロスについて発表。
・ 市立学校の給食費の中の処分費の割合が大きいと聞いていた。
・ ボランティア活動など(フードバンク手伝いほか)。
・ 子供の学校のお手紙や授業参観で知りました。
・ 緑区コミュニティーセンターのお祭りで。
・ 関係する業務に携わっていた。
・ 本で読んで知っていました。
・ 食品容器を作る業界にいた。
・ スーパー、コンビニ店内。
・ 子供が学校で調べてきた。
・ 教育に携わる職業柄。
・ 千葉市のイベント。
・ 友人との会話。
・ 自分での勉強。
・ 県民だより。
・ 常識だから。
・ 自社広告。
・ 世間の噂。
・ メール。

Q4: ご家庭で、食品ロスを出してしまう理由は何ですか。

【その他 (72件)】

・ ほとんどでない。(13件)
・ 子どもが食べ残してしまう。(6件)
・ 老人二人、冷蔵庫の定期点検をして、食品ロスが出ないようにしている。ごく稀に他者から頂戴したもので出る。

・	食事が面倒で食べないことや、パン等で済ませてしまっているうちに、食材が駄目になっていることがある。
・	家族が少ないので、少量しか必要ではない食材の販売単位が多い場合、使いきることが難しいことがある。
・	果物など、購入したときから少し傷んでいたなどがあり、直ぐにカビが生えたりして食べられなかった。
・	買った事を忘れて、賞味期限が過ぎてしまう。調味料は、使い切る前に消費期限が来てしまう。
・	家族が有害な食品を買ってきてしまう(好き嫌いとは意味が少し違うと思うので)。
・	家族の抗がん剤の副作用や病状の変化により食べられないものが出てしまった。
・	食品ロスを出さないように意識して購入料理し、保存しているのでまず出ない。
・	調味料等使う頻度が少ないものは、気が付くと賞味期限がきれていたりする。
・	癌を患ってから、その時の体調不良により、食べれない事が数日ある為。
・	食べられないがスープ等で利用できるタマネギの皮などを捨ててしまう。
・	野菜や果物をまとめ買いついて、使いきれずに腐らせてしまったなど。
・	床に落としたり、カビてしまったり、傷んでしまったりしたから。
・	調味料などが取り返しが効かないほど、期限切れになってしまう。
・	使う予定で買った食材を使えないうちに期限切れにしてしまう。
・	忙しすぎて帰宅が遅くなり、予定の品がつかれないときがある。
・	わさび辛子等の薬味チューブが使いきれない事がたまにある。
・	胃がん術後で体調が悪い時があり、残してしまう場合がある。
・	いつも食べている物を食べなくなり、妻が買っていたため。
・	販売単位が大きすぎて、少人数世帯では消費しきれない。
・	保存食の入れ替え時期が遅くなり、期限が過ぎてしまう。
・	作り過ぎるといより、思ったほど食べなかった場合。
・	疲れてデリバリーを注文したために食べ切れなかった。
・	まだ大丈夫と保管している間に腐らせてしまった。
・	買ったばかりの野菜が思いの外傷むのが早すぎた。
・	野菜の悪くなっている部分があり、取り除くため。
・	冷蔵庫の奥に移動してしまい見つけられなかった。
・	購入したばかりの野菜鮮度が直ぐに悪くなった。
・	在庫確認をして購入するのでほとんど出ない。
・	うまく調理すればほとんどロスが出ない。
・	情報、知識に加え、意識が足りていない。
・	食べる時間がなく期限が過ぎてしまった。
・	ロスを出さないように気を付けている。
・	作ったあと冷蔵庫保存せず、腐らせた。
・	青果類が想定以上に早く傷んでしまう。
・	安くても買いすぎないようにしている。

・ 仕事で夜遅くなり料理できなかった。
・ 人からもらった食材が食べきれない。
・ 年のせいで食べきれず残ってしまう。
・ 知らぬうちに消費期限が切れた。
・ 気付いたら野菜が腐っていた。
・ 調理にあたり廃棄部分が出る。
・ 冷凍処理や下処理が遅れた時。
・ 作った野菜が食べきれない。
・ 葉物野菜が萎れてしまった。
・ 予期しないカビの発生等。
・ 家族が帰ってこない。
・ 食べ方がわからない。
・ 定期便で来る。
・ 家では無い。
・ 健康のため。
・ 傷んだ部分。
・ 特になし。

Q7: 食品ロス削減につながる取組みとして市に実施して欲しいものは何ですか。

【その他（54件）】

・ 飲食店で食べきれなかった時は持ち帰りさせてほしい。（7件）
・ スーパーマーケットで早目の安売りを。（3件）
・ 消費期限が近い食品の割引の推進。（2件）
・ スーパーマーケットに、野菜などの量り売りを啓発する。海外だと、売り場に重さを測って料金ラベルが出る機械がある。
・ 家庭での食品ロスも問題だが、飲食店やスーパーマーケットが本気でこの問題に取り組むべきである。最近では恵方巻き。
・ 賞味・消費期限をより長く。消費期限が食パンやロールパンに使われているのが納得行かない。前は賞味期限でした。
・ フードドライブに参加したいが、集荷してる場所、空いてる時間などが合わないので集荷場所を増やしてほしい。
・ 飲食店等で見栄えの悪い食品は廃棄されると聞いたことがある。必要としている人々に渡るようにできないか。
・ 学校は給食指導があり、加えて食品ロスの授業もやるとなると忙しすぎて大変なので、学校にはやらせないで。
・ 普段は市場に出てこない規格外の野菜などを新たな規格として設定するなどして販売できるような仕組み。
・ 小学校の残った給食を処分せずに衛生面等自己判断で子供食堂など、活用してほしい。勿体無さすぎる。
・ フードドライブの拠点・頻度をもっと増やしてほしい。提供物が常にあるため、常時、身近で利用したい。
・ フードドライブへの参加や上記のフードロス削減を行うと共通ポイントかネットギフト券がもらえる。
・ 店の棚が空であっても、「いつでも物があるように補充しろ」を言わないような市民への啓発活動。
・ 消費者だけに負担を強いるのではなく、販売者も相応の痛みを分け合い、一緒にロスに取り組む。
・ 肥料に変えるゴミ箱の購入推奨やサポート。どうしても子供の食べ残しなどがでてしまいます。
・ 物価高騰もあって、ほんとは何もせずともフードロスは減っていくのではないかと思っている。
・ 無作為に選んだ家庭での食品ロスを調査し、客観的原因を追究し、もう少し絞った対策にする。
・ スーパーマーケット等は恵方巻やバレンタインデー、クリスマスケーキ等は予約販売にする。
・ 食料品店への小さく小分け販売、かつ価格も多い方が安いではなく、少ない方が安いを提案。
・ 学校にある果樹などをひとり親家庭など果物購入が難しい世帯の希望者にわけてほしい。
・ 企業の（スーパーマーケットやコンビニの弁当、おにぎりなど）削減に何かできないか。
・ 賞味期限等の見直しと、値引き販売等の工夫（一切値引きしない商品等）への指導。
・ 郵便局や役所に回収箱を常時置いておいてほしい。年に数回だけ食品回収やめて。
・ コンビニやスーパーマーケットの食費ロスは勿体無いなので、活用して欲しい。
・ フードドライブをスーパーマーケットやコンビニで常にやってほしい。
・ アメリカのように飲食店にドギーバッグ(持ち帰り容器)の常設。

・ イオン店内に食品寄付ボックスを一年中設置しておいてください。
・ 賞味期限にこだわりすぎないように啓発することが大切だと思う。
・ 災害のローリングストックを兼ね備蓄7日で回す工夫をする。
・ 賞味期限切れの食品を安く買える場所が増えて欲しい。
・ 生ごみを簡単にたい肥に出来る袋を簡単に購入できる。
・ こども食堂と販売店とのネットワーク構築と支援。
・ コンビニなどで、消費期限の近いものを安く売る。
・ 食品ロスを減らすためのアプリが気になっている。
・ コンビニなどでの食品廃棄をなくす取り組みを。
・ 野菜等の少量パックの販売店が増えてほしい。
・ 物価高で買い過ぎることはなくなった。
・ 学校の給食の時間を長くする。
・ フードシェア、アプリで再販。
・ 給食の残りの持ち帰り。
・ 工夫を教えてほしい。
・ コンポストの普及。
・ 各家庭で取り組む。
・ 自覚。

Q8: この1年間で、次のうちどのような生涯学習を行いましたか。
※2人が生涯にわたり行う学習活動のこと。

【その他（9件）】

・ 資産運用。（2件）
・ 現政権の方針の「資産所得倍増計画」（年金で国民の老後を養えないであろうからのための学習）。
・ 参加していない。殆ど参加したい講座がない。また会場が遠すぎる。
・ 小学校で昔遊び交流。
・ 大学（通信制入学）。
・ 国家資格の取得。
・ 金融教育。
・ 介護。

Q9: (Q8で「行っていない」と回答した方)
その理由は何ですか。

【その他 (6件)】

・ 行きたいパソコンの活動が土日や、夕方であり子育て中にはいけない。
・ 介護が始まったので、決まった時間の予定を立てられない。
・ 仕事も家事、育児全てです。
・ 子どもの預け先がない。
・ 予定が合わない。
・ 活用先がない。

Q12: 本市の歴史や文化財※6に愛着を感じていますか。
※6 歴史上、芸術上または学術上の価値が高いものをさし、そのうち重要なものを国・県・市が指定・登録している。千葉市にあるものでは、加曽利貝塚、稲毛浅間神社の神楽、旧川崎銀行千葉支店本館(現在の千葉市美術館1～2階部分)などが該当する。

【どちらかといえば感じない (57件)】

・ 出身地じゃないので。(13件)
・ どんなものがあるか知らないから。(7件)
・ 千葉市に越してきて、年数が浅いから。(5件)
・ 興味がない。(4件)
・ 歴史や文化財に興味がない。(2件)
・ 貝塚など千葉市らしい売りのものには興味がないが、昔の写真の展示や現在との比較写真にはとても興味がある。
・ 過去の生々しい千葉県の水不足、戦災復興、最近津波と房総台風生き様の歴史に関心がある。
・ どれも汚く衛生的ではない。ゴミが落ちてたり、何年も積もったほこり、コケ、シミがあったり。
・ 他県にもっと規模が大きかったり歴史的価値があったり立派なものがたくさんある為。
・ 住居地からはどこへ行くにも交通が不便なので、行くことがなく、愛着がわからない。
・ コロナ禍でお祭りやイベントが減り身近に感じられなくなってしまった。
・ 訪れるまでに時間がかかる場所が多く身近に感じる事ができないから。
・ 就職して千葉に来て、東京勤務であまり地元へ愛着が無い。
・ 見に行く機会が無く。詳細を把握していないため。
・ 出身地が違うので、小学校などで学習してない。
・ 自分が住んでいる地域と距離があるため。
・ 文化が優れている、東京が好きだから。
・ 時間がない。ふれる機会が少ない。
・ 身近ではないから。見たことがない。
・ 文化財に足を運ぶが興味はわからない。
・ 生活の行動範囲に場所が無いから。

・ 歴史的に親しみを感じない。
・ 内容があまり面白くない。
・ 地味でつまらないから。
・ 触れる機会がないから。
・ 心に刺さるものがない。
・ 身近に感じない点かな。
・ どの市町村にもある。
・ 心理的余裕が無い。
・ 行った事がない。
・ 理由はない。

【感じない（35件）】

・ 興味がない。（9件）
・ 地元ではないから。（5件）
・ 身近にないため。（3件）
・ 転入してきて日が浅いため。（2件）
・ 歴史に興味がない。（2件）
・ 理由はない。（2件）
・ 強制的に感じさせるものではない。街づくりの中から共感を得る方法をとるべき。すぐに結果を求めるから失敗。
・ 美術館は他県の方にもおすすめしたいが、その他についてはよく分からないため愛着までは感じない。
・ 千葉市が歴史や文化を大切にしているとは思えないから。
・ 実際に行ったことも見たことも聞いたこともないから。
・ まだ項目にある施設等を訪れたことがないため。
・ 知ったところで、愛着にはつながらないため。
・ 仕事で転居してきて知る機会がなかった。
・ 何が該当するのか不明だから。
・ 千葉市に愛着を感じていない。
・ 触れる機会がないから。
・ まったく魅力がない。
・ 知らないから。

Q13:

本市では、学習活動を通じて地域課題を自ら解決するコミュニティが形成されることを目標に、事業を行っています。あなたの周りでは、住民同士が、互いに協力して地域の課題の解決などに取り組んでいると思いますか。

【取組事例】 地域住民と公民館が連携した講座、公民館コンサート(地域住民の交流)、公民館での伝承遊び講座(世代間の交流)、学校施設開放(地域活動や生涯学習の場の提供) など

【どちらかといえば思わない (57件)】

・ 見たり聞いたことがない。(8件)
・ 近隣の付き合いが少ない。(6件)
・ そのような取り組みを知らないため。(3件)
・ よく知らないのです。(3件)
・ 「地域住民が互いに協力して」という部分に違和感がある。年配の方のサークルっぽい取り組みの方が多くと感じ。
・ 講座等があったとしても参加者の年代が偏っており、高齢層が多く、仕事を持つ現役世代の参加は少なく感じる。
・ 自治会が無いからしょうがないように思えますが、ゴミ回収日の事でしかご近所さんが集まることがないです。
・ 参加できる人数枠が少なすぎると感じます。コロナ禍であり仕方がないが入れ替え制で回数を増やしては？
・ 講座などがあるのは知っているが、盛り上がっている様子もないし啓蒙活動もほぼないから。
・ 地域課題を自ら解決するコミュニティの形成には残念ながら到達していないと思います。
・ アパート暮らしで、ご近所の方との交流や会話が挨拶程度が関わる機会がないため。
・ 昔からの部落で、親戚だらけでそういうことをすると周りからウザくみられるから。
・ 地域住民が無関心でも住んでいられる土壌があり、一步通行的な発信になっている。
・ 取組事例を聞いてもピンとこない。一部の人たちで行われているイメージがある。
・ 事業参加者は殆んどがいつも同じ顔触れで、もっと広範囲な参加が望まれます。
・ 情報が全くない。居住マンションが自治会に入っていない為、受け取れない。
・ 現役世代に余裕がない。世代間の格差(経済的余裕、時間、意識)。
・ シニア世代はやっているかもしれない。他はやっていないと思う。
・ 一定の方のみの利用で入りづらいし、入れてもらえない環境です。
・ 自治会が崩壊している。そのようなところなので皆非協力的です。
・ 新型コロナウイルスの影響で地域活動が制限されているため。
・ 日中は仕事をしているためか、住民同士の交流があまりない。
・ 取り組み事例のような活動に参加していないのでわからない
・ マンションしかないエリアで、関係や自治意識は希薄。
・ 住居地では年配者が多く、現役世代間の交流は難しい。
・ コミュニティに参加する機会は少ない(ほぼ無い)。
・ コロナ渦で自治会活動がほとんどないように思う。

・ ずっとコロナ禍でやりたくとも困難だったから。
・ マンションのため近所付き合いは少ないと思う。
・ 生活の範囲ではそのような活動を見かけない。
・ 「住民同士が協力して」は分かりません。
・ 一部の人だけがやっているイメージ。
・ 交流する機会がなくなってしまった。
・ 先頭をきって動く人がいない。
・ 地域活動があまり活発でない。
・ 不況と増税のせい。
・ きっかけがない。
・ 分からなかった。
・ うつとおしい。
・ 興味が無い。
・ 数が少ない。

【思わない（70件）】

・ 活動しているのを見聞きした事がない。（17件）
・ 住民との関わりがない。（10件）
・ 情報が無い。（4件）
・ 興味が無い。（3件）
・ 具体的な事例がわからないため。（2件）
・ 転入して日が浅いため。（2件）
・ 交流がない。（2件）
・ 昔からのコミュニティと新住民との間に何も関わりがないから。町会費を払っているが内訳を知らされていない。
・ 地域課題の定義が分からない。住民の交流の様子を見たことがない。私の属性が転入1年独身会社員だからか。
・ 特定の方（主にシニア層）は活動してるかもしれないが、どのような活動をどこでしているのかわからない。
・ 取り組む機会がないもしくは自分を含め、周りがこのことを知らないもしくは興味がないと思われるため。
・ マンションですれ違う人が多いが、挨拶をしない人や騒音など自分勝手な人が多いと感じているから。
・ 企画に公民館などがなく、講座があるかどうかもわからない。また、住民同士の活発な交流がない。
・ 共同のゴミ捨て場を掃除してもすぐに汚くなり、非協力的な人が少なくないと感じるため。
・ 活動そのものを知らないし、活動しているようにも見えないので、もっと啓発すべき。
・ 他区ではあるかもしれないが、家の周りではそのようなイベントを聞いたことがない。
・ 自分が知らないだけかもしれないが、地域内でそういった活動を聞いたことがない。
・ お年寄りや小中学校に通う子供がいないとコミュニティが形成されない。

・ 自宅はマンションの為、周囲とのコミュニケーションが希薄である。
・ 今は男女ともに65歳まで働く時代。生活するだけで精一杯。
・ 何かを言えば、変わった家だと思われそうと言えない。
・ 輪番制の家庭用ごみ収集場所の掃除のみの活動だから。
・ 高齢化が進み外出希望者が少なくなっている。
・ 参加する人としらない人が偏っていると思う。
・ 子育て世代はみんな家事育児仕事で手一杯。
・ 町内会(自治会)の機能がない地域だから。
・ 公民館での講座に参加したことがない。
・ 新築マンションのため特に活動がない。
・ 地域活動の取り組み自体が伝わらない。
・ 周りの人が他人に関心がない。
・ 地域の課題が解決されない。
・ 効果のないものばかり。
・ 自治会の押し付け合い。
・ 特に接点がない。
・ 友達がいない。
・ 理由はない。
・ 地域課題に。

Q14: 本市の生涯学習活動に関する情報※7は充実していると感じますか。
 ※7 市政だより、市ホームページ、市SNS、フリーペーパー、新聞折込チラシ、学校などで配布されるイベントのチラシ、ポスター、テレビ、クチコミ(個人のブログ等)、町内自治会などの回覧物など

【どちらかといえば感じない (55件)】

・ 聞きししない。(5件)
・ 積極的に情報を探しに行かないと得られないからです。(2件)
・ 市政だよりは見ていない。(2件)
・ 内容をよく知らないから。(2件)
・ あまり魅力的でない記事は読まないの、市政だより等に掲載されていた多分気づいていなかったのだと思う。
・ 出席可能な人数が少なく、参加できないことが多い。おゆみ野公民館はすぐに満席で参加できなかったことがない。
・ フリーペーパーをもっと配布していただきたいです。また、市政だよりの設置場所を増やしてほしいです。
・ 情報の充実は一方通行になりがちで、多くの人々が深く共感するような掘り下げた手法が足りないと思う。
・ 媒体の充実はしているかもしれないが、市民が情報を取りに行く努力が必要な環境である気がします。
・ TwitterやLINEで最近頑張っていると思うが、そのリンク先が不親切。
・ 一部の有志が活動しているが、周辺地域の住民の意見や希望を余り取り上げていないから。

・ 近所の公民館、コミュニティセンターでの活動が少ないと感じる(情報を目にしない)。
・ 実際に公民館やコミュニティセンターに足を運ばないと得られない情報もあるから。
・ 生涯学習活動に関する情報をどこから入手すればよいのか、現時点で知らないため。
・ フリーペーパー等は見ないため。LINEやSNSならみるかもしれないです。
・ 市政だよりは分かりにくい。HPは使いづらい。情報発信担当者の能力不足。
・ 参加受入れ人数が少なかったり、年齢制限があるので中々参加できない。
・ 理科系の学習内容が少ない(PCスマホの使い方は理科系ではない)。
・ 市政だよりに掲載しているのを知っているが、動機づけまで至らない。
・ 市政だよりは情報が見づらい。それ以外は見聞きしたことがない。
・ 私が無関心なせいかもしれないがリーチしていないように思う。
・ 50歳を過ぎても収入につながるリスキリングが不足してる。
・ 市政だよりで、自分の参加できる活動の有無が確認できる。
・ 欲しい情報が無い。知らなかったり、後に知る情報もある。
・ 市政だよりの情報が分かりにくく回覧物は回って来ない。
・ 生涯学習の必要性のメッセージ性が弱いと感じるから。
・ 学習活動の数や内容のアナウンスが足りないと思う。
・ 条件等で、だれでも参加できるように感じられない。
・ 情報が色々バラバラで載っていて、わかりにくい。
・ マンションのため近所付き合いは少ないと思う。
・ もっと積極的でないと誰も関心を持たない。
・ 体験談などが無いので、実態が分からない。
・ チラシなどもなく掲載も殆ど見かけない。
・ 仕事をしていると情報が入ってこない。
・ 市政だよりでしか見たことがないから。
・ 忙しくて目に入っていないだけだと思う
・ 興味のある人しか見ない媒体が多い。
・ 生涯学習について知る機会がない。
・ 全ての人に届けるのは難しいから。
・ あまり認知がないように感じる。
・ 若者がそのような情報を見ない。
・ お年寄り向けのばかりだから。
・ ことぶき大学がなくなった。
・ 自分が知らなかったため。
・ 開催場所が偏っている。
・ 比較基準、対象がない。
・ 情報を探しにくい。
・ 不況と増税のせい

【感じない(23件)】

・ 見たことがない。(3件)
・ 興味がない。(2件)
・ 自治会の回覧板は必要性のない物が多いので、減らした方が良いと思う。エコにもなるし。
・ 生涯学習に対し、たまたま見たからであって、必ず目を通す必要がない範囲に思える。
・ 運営努力が欠如したまま、ことぶき大学校など生涯学習に有効なものが廃止された。
・ 情報は出ているが、住民に本気で届けようとする行政側の熱意を全く感じない。
・ 金融教育が全くない。新NISA制度に向けて充実させてほしい。
・ どれも閉塞感があり仲間内で楽しんでいるとしか思えない。
・ フードドライブの実施はたまたま知った。
・ 素人・高齢者を歓迎しない雰囲気がある。
・ 生涯学習に興味をわくものが無かった。
・ 回覧板の内容が意味の内容である。
・ 具体的な事例がわからないため。
・ 情報が全く印象に残っていない。
・ 情報は、市政だよりだけだから。
・ 市ホームページを見ないから。
・ 興味のある講座がない。
・ 効果のないものばかり。
・ 全く知らない。
・ 関心がない。

Q16: 今後、地球温暖化が進行すると、次のような影響があると想定されています。次のうち、あなたにとって発生したら特に困る影響を教えてください。

【その他 (9件)】

・ 人手による気候変動と地球規模における自然な変動を混同し自然の流れで変わっていくものに抗う意識の広まり。
・ 地球温暖化はすべてに影響するが、人間がそうしたのだから困るという考えは当たらない。
・ 長いスパンで見れば気候変動というほどではないと思う。適応をしていくことが大事と思う。
・ 地球温暖化自体に疑問がある人もいますので、温暖化が前提の質問は不適切と考えます。
・ 温暖化自体の真偽がまだ分からない。
・ 温暖化かどうか判断できない。
・ 経済への影響。
・ 物価上昇。
・ 就業困難。

Q17: 次のうち、現在、あなたが実践している省エネのための取組みを教えてください。

【その他 (25件)】

・ 温水洗浄便座は使用時以外コンセントを抜いている。(2件)
・ 省エネ目的でやっていることはないが、お金の節約の目的では、いくつかのことをすでに行っている。
・ 冷蔵庫の設定温度を控えめにし、冷蔵室はスカスカに冷凍庫はパンパンを心がける。
・ ペットボトル、キャップの回収ボックスの利用、裏紙の利用等使用等ゴミ削減。
・ 使用時以外トイレの便座電源オフ、冬は風呂換気扇をほぼ使わない等。
・ リサイクルできないプラスチック素材のものはなるべく買わない。
・ 正しい知識を得て正しい行動と全体的な視点での無駄の削減。
・ 温水洗浄便座をオフにして、便座カバーを利用している。
・ 庭に落葉樹を植える。セメントを敷地内に張らない。
・ 風呂リフォーム時に断熱性を高めるものに替えた。
・ エネルギー高騰で嫌でも省エネせざるを得ない。
・ 可燃ごみを極力出さないように努力している。
・ 夏、エアコンに頼らない。冬、服装で調節。
・ 家の断熱性を高められるシートを窓に貼る。
・ ペットボトルをリサイクルの機械へ収集。
・ お風呂は家族で時間をあけずに入る。
・ ゴミの排出量を減らす。
・ エアコンを使わない。
・ 自宅の滞在を減らす。
・ 暖房は一切使わない。
・ 車の保有を止めた。
・ マイボトル活用。
・ 内窓DIY。
・ 二重窓。

Q18: 次のうち、今後、あなたがはじめてみたいと思う省エネのための取組みを教えてください。

【その他 (15件)】

・ 今実施している取組みを維持する。(5件)
・ 当面出来そうなことは既にやっている。機器の老朽更新時に省電力化を図りたい。
・ レジ袋は99%使っていない。節水シャワーは前から使っている。
・ 太陽光発電と家庭用蓄電池の促進や公的補助。
・ 熱効率の良い新しい冷蔵庫への買い替え。
・ グリーンカーテンや遮光ネットの活用。
・ アイドリングストップの実践。
・ 余熱接続機材の電源を切る。
・ ボトルやパッケージの再利用

・ 太陽光発電の検討。
・ 外に出かける。

Q20: あなたが台風や豪雨などの自然災害※11に備えていることを教えてください。
 ※11 近年、日本を含め世界では、猛暑や豪雨など地球温暖化が原因と推測される災害が多発しており、本市においても、令和元年の房総半島台風(第15号)、東日本台風(第19号)による災害に見舞われた。

【その他 (11件)】

・ ハザードマップは修正されているが、現実との落差が大きい。各種災害後被害調査をしている。
・ 停電に備えて太陽パネルと蓄電池の用意、ガス缶で使えるホットプレート、ストーブを用意。
・ 先日参加しましたが、防災リーダーの講習で知識をつけ、家族へ共有しました。
・ シェルターとしてのキャンピングカーの利用。
・ 懐中電灯と靴は寝床近くに置いている。
・ テントや屋外炊飯ができるものの準備。
・ ポータブル電源。ソーラーパネル。
・ 防災に関する講演会などに参加。
・ 携帯ラジオを用意しました。
・ 非常用トイレの備蓄。
・ 携帯バッテリー。

Q21: 地球温暖化の影響で暑い日が増えると、熱中症のリスクが増加しますが、あなたは、熱中症対策に関する情報をどのように収集していますか。

【その他 (9件)】

・ 地球温暖化自体に疑問がある人もいますので、温暖化が前提の質問は不適切と考えます。
・ デジタル気温計(熱中症アラームが表示される)。
・ 環境省の熱中症警戒アラート(LINE)。
・ ちばし安全安心メール。
・ Twitter。
・ インターネット。
・ ネットニュース。
・ 仕事を通して。
・ 本、雑誌。

Q23: その原因は何ですか。

【その他 (25件)】

・ 漠然とした将来への不安。(2件)
・ 長生きしたからもういい。(2件)
・ 項目以外の人間関係。(2件)
・ 人生を十分楽しんだからいつ死んでも構わないと思うが、自殺したいとは思わない。

・ 行政窓口や親の行政担当者の方の対応についてとてもストレスを感じています。
・ 労働時間が長く、休みも少なく心身共に疲れ果てていた。
・ 長生きしたくない。70歳までには死にたい。
・ 複雑多岐にわたり単純には言えない。
・ 問題が増えても減らないから。
・ 自身を低く見ることによる。
・ 自分が嫌い、人が嫌い。
・ 老後の健康、金銭不安。
・ 退職勧奨、退職勧告。
・ 自分自身の不甲斐なさ
・ 父母の死や知人の死。
・ 生きる事への疑問。
・ 先の展望の無さ。
・ 自分自身の性格。
・ 未来がみえない。
・ 世界情勢。
・ さみしい。
・ 言えない。

Q25: 「死にたい」と思うほどの悩みやストレスを感じた時、自殺を思いとどまった理由をお聞かせください。

【その他（55件）】

・ 家族がいるから。（5件）
・ 子供がいるから。（4件）
・ 周りに迷惑をかけたくないので。（3件）
・ ブラック会社にいるためストレスはなくなる。家族に止められたが労働基準監督署に言っても駄目で20年我慢。
・ 以前自殺未遂をして入院した時の精神科病棟内のほうが人権軽視が酷かったのでまた入院したくないから。
・ 思い留まっではない。勝手に周りから助けられた。今は4歳の子持ちシンママなので頑張ってますが。
・ 転職した。家族、同僚より赤の他人である、お医者さんや職安の人の意見の方が客観的で信頼できた。
・ 死にたいと思うのは、先が長いと感じた時であって、そうでなくなった今は思わなくなった。
・ 途中で、「なぜ自分が死ななければならないのか。悪いのは相手だ」と冷静になれた。
・ 家族のことを考えた。仕事より家族の方がずっと大事だと思い仕事を辞めました。
・ 困った原因の相手ではなく、自分の命を差し出すのがばかばかしいと思えた。
・ その嫌な人や事のために人生を終わらせて良いのか考えて思いとどまった。
・ カウンセラーに話を聞いてもらった。シャーリー・マクレーンの本を読んだ。
・ 十分に人生を謳歌したから、さっさと死んで楽になりたい。

・ 自殺こそ自分を苦しめる相手の最も望むことだから。
・ 原因である仕事を辞めたら、自然に回復していった。
・ 全身の寒気が抑えられなくなった時、怖くなった。
・ 自殺すると周りの人を悲しませると思ったから。
・ 自分の考え方が変わるまで大量の本を読んだ。
・ 家族、他人に迷惑をかけたくないから。
・ 書籍を読んで気持ちが切り換えられた。
・ 死ぬにも金が掛かる。短歌を始めた。
・ 自分の人生が終わることが嫌だから。
・ 安楽死を早く国で実施してください。
・ 一人暮らしを始めて環境が変わった。
・ 本を読んだりして自分で抜け出した。
・ もう少し頑張ろうと奮い立たせる。
・ 自殺は絶対しないと決めていた。
・ 自分が死ぬ意味がないと悟った。
・ 親より先に死んではいけない。
・ 本気で死にたいと思ってない。
・ 仕事がうまく進まなかった。
・ 自分で気持ちを立て直した。
・ このまま死んだら、犬死。
・ 残していけない人がいた。
・ ペットが気がかりだった。
・ 自問自答を繰り返した。
・ ひたすら我慢しました。
・ 旅行で気分を和らげた。
・ 死に方がわからない。
・ 親戚や知人との会話。
・ 今でも考えている。
・ 時間が解決した。
・ 仕事を辞めた。
・ 死ねなかった。
・ 言えない。